



社会福祉法人 恩賜財団 済生会支部 茨城県済生会

常陸大宮済生会病院

Social Welfare Organization Imperial Gift Foundation, Inc. Hitachiomiya Saiseikai Hospital

病院案内

理念

患者中心の医療

安全で質の高い医療

地域に開かれた病院

基本方針

1. 患者の権利を尊重し、患者中心の医療を提供します。
2. 医療事故の防止に努め、医療の安全確保を推進します。
3. 地域医療機関等との連携を強化します。
4. 救急医療に努めます。
5. 地域の医療従事者の研修・養成に努めます。
6. 健全な病院経営に努めます。



■ 病院長挨拶



病院長 小島 正幸

済生会は、明治天皇が「生活苦で医療を受けることができずに困っている人たちに施薬救療によって救おう」と済生勅語を発せられ、明治44年(1911年)に設立しました。

100年以上にわたる活動から、次の三つの目標を掲げています。

生活困窮者を **済**(すく)う

医療で地域の **生**(いのち)を守る

医療と福祉、**会**を挙げて切れ目のないサービスを提供する

当院開院前の茨城県北西部地域は、県内で唯一中核的な病院が存在しない地域でした。

2004年当時 大宮町長、常陸太田市市長、桂村長、御前山村長、瓜連町長、山方町長、美和村村長、緒川村村長、金砂郷町長、水府村長、里見村長、大子町長からなる総合病院誘致期成同盟と茨城県、済生会が、地域住民に良質で安心・信頼される医療の提供ができる地域中核病院の計画を進め2006年7月3日に当院が開院しました。

救急医療の充実が、当院に課せられた大きな使命の一つです。医師の減少とともに減っていた救急搬送受入状況も、増加傾向で、2017年度は毎月100台を超える救急車の受け入れを行っております。

「患者中心の医療」「安全で質の高い医療」「地域に開かれた病院」を基本理念とし、

「患者・家族・地域にやさしい病院」

「地域づくりに貢献する病院」

「職員が誇りに思える病院」を合言葉に

地域から信頼される病院をめざし 皆さんが安心して暮らせるよう職員一丸となってこの地域の医療に貢献する所存です。今後ともご支援のほどよろしくお願いいたします。

施設概要

- 開設者 社会福祉法人 済生会支部 茨城県済生会
- 場所 常陸大宮市田子内町3033-3 (常陸太田・ひたちなか保健医療圏)
- 規模 敷地面積 36,449㎡ 延床面積 11,339.88㎡ 病床数 160床
- 診療機能 第二次救急医療及びへき地医療に対応できる医療機関
- 診療科目 内科、循環器内科、呼吸器内科、消化器内科、内分泌・代謝内科(糖尿病・脂質異常症)、小児科、外科、消化器外科、整形外科、脳神経外科、泌尿器科、肛門外科、形成外科、皮膚科、放射線科、リハビリテーション科
- 開院 平成18年7月3日

忘己利他 の精神で

Three critical elements of medical care
patient-centered consultation
safe, first-quality medical practice employing advanced technology
and full integration with the local community

忘己利他：天台宗開祖 最澄の言葉
「己を忘れて他を利する」自分のことを忘れ他人のために尽くす
の意。私たち常陸大宮済生会病院職員一同は、忘己利他の精
神で患者中心の質の高い医療を提供してまいります。



①診察風景 ②外来問診 ③リハビリ風景

基本方針1 患者の権利を尊重し、患者中心の医療を提供します。

患者中心の医療

医療の安全確保

基本方針2 医療事故の防止に努め、医療の安全確保を推進します。

①手術風景 ②調剤 ③ダブルチェック





①近隣病院からの検査依頼 ②地域連携室 ③施設への情報提供 ④地域住民とのふれあい

基本方針3 地域医療機関等との連携を強化します。

地域との繋がり



基本方針5 地域の医療従事者の研修・養成に努めます。

地域医療の未来へ



基本方針6 健全な病院経営に努めます。

健やかな病院に

救急病院の使命

基本方針4 救急医療に努めます。

①年間約1,000件の救急患者を受け入れています ②救急処置風景 ③ヘリポート ④救急搬送



①認定看護師による講座 ②新人教育 ③プリセプター制度

①②当院はDPC対象病院です ③病院の顔 窓口業務

茨城県
常陸大宮市

人口：41,637人
世帯：16,065世帯
[平成29年4月1日現在]

水戸市

当院が位置する常陸大宮市は、水戸市から北西約25kmの茨城県北西部に位置する緑豊かなまちです。

県内で唯一、中核的病院のなかった県北西部地域でしたが、合併を機に、常陸大宮市と隣接する4市町で構成する総合病院誘致期成同盟、茨城県、済生会で地域医療の中核となる病院を整備し、多くの住民が待ち望んでいた常陸大宮済生会病院が、平成18年7月3日に開院しました。

暖かい光 差し込む空間



外来待合



エントランス正面 ゲルト・クナッパー 作「夢」



総合受付



4床室(個室的多床室)



個室

当院設備について

当院では、3D 超音波診断装置をはじめとする検査機器や、クラス1000 クリーンルーム手術室など高度な医療機器・設備を活用し、より良い医療を提供できるよう努めております。

また、医療事故の防止や質の高い医療を提供するため、診療情報の共有化を図るとともに、患者サービスの向上を推進するため、電子カルテシステムやオーダーリングシステム及び放射線情報システム(PACS)等の医療情報システムを積極的に活用しています。また、電子カルテシステムの導入により、外来診察室や病棟では放射線検査の画像や内視鏡検査、超音波検査、血液検査等の結果をいち早くコンピューターの画面上で確認、診断することが可能となり、正確な診療と効率性の向上が期待できます。



3D 超音波診断装置 IE33



MRI(1.5 テスラ)



血管造影装置



手術室(バイオクリーンクラス1000)



マルチスライスCT(64列)



病棟ラウンジ



リハビリテーション室



オール電化厨房



売店

濟生の道 私たちの系譜



▲故名誉総裁
高松宮宣仁親王妃
喜久子殿下 御書

初代総裁・伏見宮貞愛親王殿下（ふしみのみやさだなるしんのう）は、創立当時、濟生会の事業についてのお心を「撫子（なでこ）の歌」としてお詠みになりました。それにちなんで、いつの世にもその趣旨を忘れないようにと、撫子の花に露をあしらったものが、大正元年から濟生会の紋章となっています。

なでこの紋章の由来

露にふす 末野の小草 いかにかぞとあさ夕かかろ わがこころかな

濟生会とは



明治 44 年 2 月 11 日、明治天皇は「医療を受けることが出来ないで困っている人達に、施薬救療の途を講ずるように」という趣旨の「濟生勅語」と、その基金として御手元金 150 万円を当時の内閣総理大臣 桂太郎に下賜され、総裁伏見宮貞愛（さだなる）親王、会長桂太郎とし、濟生会を創立。以来、全国的規模で医療の推進と社会福祉事業に取り組み、戦後に公的医療機関の指定を受け組織を「社会福祉法人」に改め現在に至っています。

また「困った人に医療の手をさしのべる」という濟生会の創立の原点につながる事業として、経済的に困りの方のために無料または低額な料金を診療を行う「無料低額診療」を行っています。

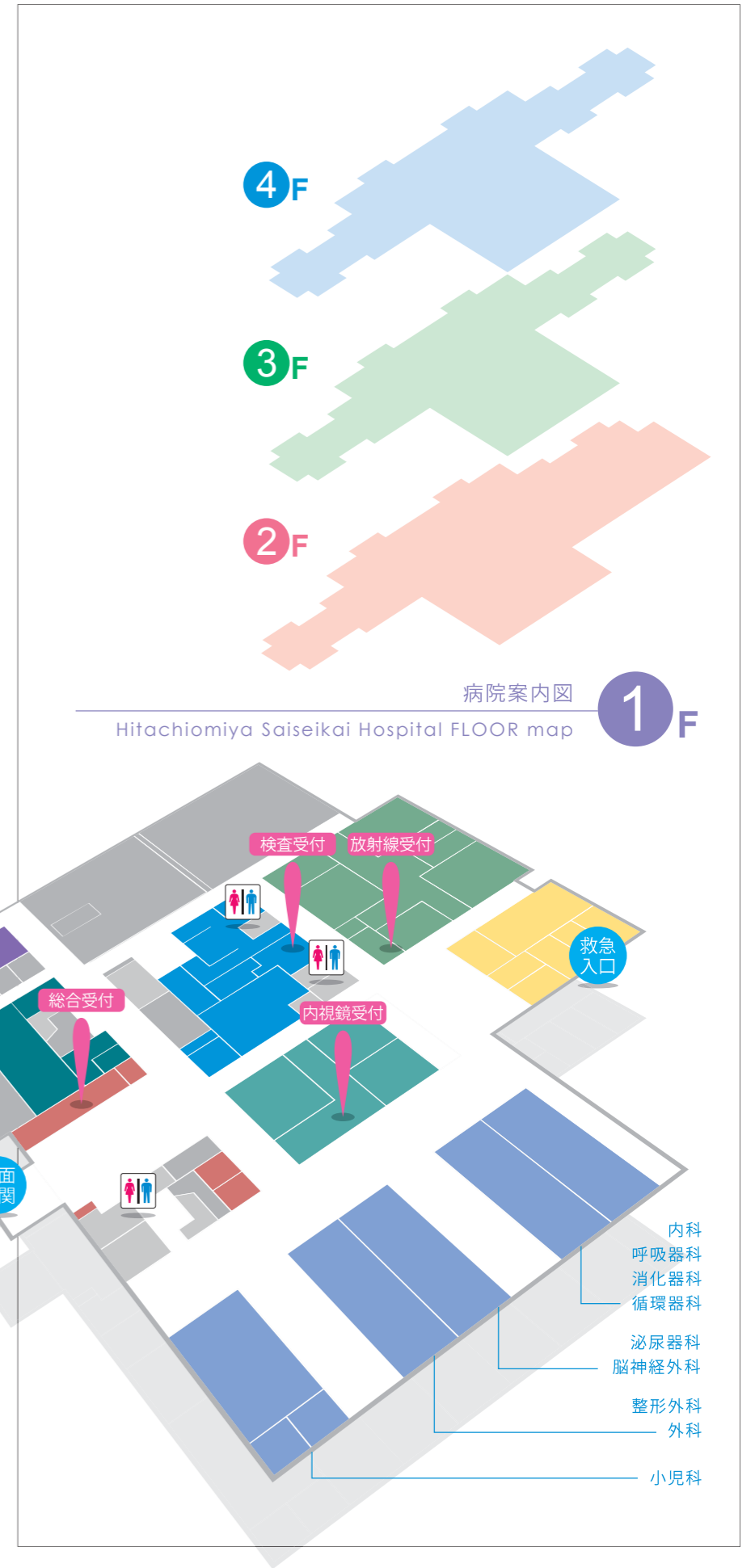
明治天皇「濟生勅語」原文

勅語

朕惟フ二世局ノ大勢ニ随ヒ國運ノ伸張ヲ要スルコト方ニ急ニシテ經濟ノ狀況漸ニ革マリ人心動モスレハ其ノ歸向ヲ謬ラムトス政ヲ為ス者宜ク深ク此ニ鑒ミ倍々憂勤シテ業ヲ勸メ教ヲ敦クシ以テ健全ノ發達ヲ遂ケシムヘシ若夫レ無告ノ窮民ニシテ醫藥給セス天壽ヲ終フルコト能ハサルハ朕力最軫念シテ措カサル所ナリ乃チ施薬救療以テ濟生ノ道ヲ弘メムトス茲ニ内帑ノ金ヲ出タシ其ノ資ニ充テシム卿克ク朕力意ヲ體シ宜キニ随ヒ之ヲ措置シ永ク衆庶ヲシテ頼ル所アラシムムコトヲ期セヨ

大意

私が思うには、世界の大事に於いて国運の発展を急ぐのはよいが、我が国の経済の状況は大きく変化し、そのため、国民の中には方向を失うものもある。政治にあずかるものは人心の動揺を十分考慮して対策を講じ、国民生活の健全な発達を遂げさせるべきであろう。また、もし国民の中に、生活に困窮して医療を求められないものもあらず、天寿を全うできないものがあるとするれば、それは私が最も心を痛めるところである。これらの人たちに薬を与え、医療を施して生命を救う——濟生の道を広めたいと思う。その資金として、ここに手元金を提供するが、総理大臣は私の意をくみとって措置し、永くこれを国民が活用できるよう希望するのである。





JR水郡線 常陸大宮駅下車

(JR常磐線 水戸駅 → 常陸大宮駅：約35分)

- 常陸大宮駅より タクシー 約5分
- 常陸大宮駅より バス 約10分



常磐自動車道那珂ICより 約30分



社会福祉法人 済生会支部 茨城県済生会

常陸大宮済生会病院

〒319-2256 常陸大宮市田子内町3033番3

TEL **0295-52-5151** FAX 0295-52-5725

<http://www.ho-saisei.jp>